授業科目名		論理学	対象学期	授業科目区分 対象学期 対象学年 単位数			担当教員
英		Logic	/// Hn	教養科目	0 14 LL	教授	朴木 智司
	授業概要	00102 I AJ 論理学とは、正しい思考過程を経て矛盾なくれ は、論理学という骨組みの中で正しく論理立て、 論や論述ができるような技術を身に付けます。 特に論理学はいろいろな学問の基礎となってい 成が無茶苦茶な議論や論述が行われている場合がいて深く理解し、代表的な論理学の手法を学び、 論理学が、思考や議論、論述において必要不可が 【授業の狙い】この授業は、学生が「複雑化して 6)を実現する過程において必要な科目であり、 ポリシー1)や、「課題解決の過程を分析し、論す。 【コースとの関連】すべてのコースにおいて重要	る技術や正しくいるにない。 いるにも関わらいるにもします。 いるにも論理でも論理で生きがら た社会にいきもない。 とさらに、 は理的思りという。 は理的思りという。 は理の思う。	推論する技術 ず、の講問の 思考力やの 思考力とで を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	を学び、論理的 解しない講生の して、受講しまま、 と決力を強くり とをつけるでいる。 を分析し、問	的な思考力(矛盾なく なんとなく利用され 生は「論理的に正しい 身に付けていきます。 します。 ィプロマ・ポリシー」 関発見能力を身につい	考察する力)を発揮して議 でいることが多く、論理構 り」とはどういうことかにつ そして、その過程の中で、 (カリキュラム・ポリシー する」こと(ディプロマ・

到達目標

- ・論理的思考力や問題解決力を身に付けます。 ・自分の意見を矛盾なく口頭や文章で伝えられるようにします。

実務経験の	実務経験のある教員等 による授業科目の学修成
有無	果

コンピテンシー(行動 「伸ばすことのできる			協調性	傾聴力	創造力	論理的思考力						
「伸ばす	ことのできる	能力」		0	0	0						
講義	方法	講義	講義									
	回数			内容								
	第1回	論理学の概	a理学の概要 (論理と言語について・命題論理と推論について)									
	第2回	命題論理1	命題論理1-命題と真偽・集合とベン図									
	第3回	命題論理2	命題論理2-基本的な真理関数(否定(ではない))・(選言・論理和(または))・(連言・論理積(かつ))									
	第4回	命題論理3	命題論理3-基本的な真理関数(同値)・(ド・モルガンの法則)									
	第5回	命題論理4-基本的な真理関数(条件法(ならば)と逆・裏・対偶)										
	第6回	命題論理5-論理式の復習 (定義等) ・問題演習										
	第7回	命題論理6-恒真命題(トートロジー)・恒偽命題										
授業計画	第8回	命題論理7-真理値分析と推論										
	第9回	命題論理8-復習と問題演習1(三段論法)										
	第10回	命題論理9-復習と問題演習2(真理値分析と推論の練習)										
	第11回	命題論理	に伝統的論理学の違いと統一									
	第12回	述語論理1	- 述語論理の基本概念									
	第13回	述語論理2	-述語論理と量化									
	第14回	論理力トル	レーニング (接続詞の利用)									
	第15回	論理力トレーニング (論証を批判的にとらえる)										
評価に	方法	○期末試験	倹(60%) ○課題(40%)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							

評価:	方法	○期末試験(60%) ○課題(40%)
課題(試験やレポート等)の フィードバック方法		課題はチェックして返却します。試験は必ず採点後に返却するので、間違った個所を修正し課題として提出してもらいます。
	テキスト	論理の練習帳 中内伸光 共立出版 本体2,200円+税
使用資料	参考図書	論理学(野矢茂樹) 本体2,600円+税 論理トレーニング101題(野矢茂樹) 本体2,000円+税
受講上 <i>0</i> 備考		この講義を受講しながら、論理学で学んだ知識が法律学でどのように活用されているのかを深く注視してみてください。 今まで意識せず利用していた手法の中に、論理学で使われる基本的な手法が適用され、論理的な考察に基づいて解説・議 論されていることに気づくでしょう。法律学という学問が論理学と深く結びついて構成されていることを強く認識するで しょう。 詳しくは初回に説明します。
事前·事後 学習	事前	講義中に渡したレジメには必ず目を通し、前回取り組んだ例題や練習問題をもう一度解き直してください(1時間)。
(学習課題)	事後	指示した課題は次回の講義までに必ず完成させ提出してください(1時間)。
オフィス	アワー	火曜日2限(A棟4階1411研究室)

授業科目名		民法総則Ⅱ	技 対象学期	受業科目区分 対象学年	〉 単位数	職名	担当教	
英	文 名	General Rules of the Civil Code II	\1%	専門科目	十世級	講師	後藤	五 禾
ナン	バリングコート	03706 I AJ	後期	1年	2単位	神训	1を除し	世 字
授	業概要	民法は、私人間の財産関係及び家族関係に関の分野から構成されています。この中で総則総編の「代理」、「時効」、「法人」の部分を学点(論点)やそれに関連する判例・学説を学び【授業の狙い】社会問題に興味関心のある学生的学修により専門知識を養い、リーガルマイン発見能力を身につける、課題解決の過程を分析【コースとの関連】すべてのコースにおいて、	は、民法全体習します。講話ます。また、リーガルマけいの思います。した、男の対かではいいます。	(とくに財産) 義では、民法》 インドを身につる (カリキュラ 考力を身につい す。	生) に共通す。 総則におけるf つけたい学生 ラムポリシー? ける (ディプ	る制度を定めています 制度や概念を説明しま (アドミッションポ! 2) 、法学的な客観的	す。本講義では、注 ます。そして、注 リシー2.4) が、 視点で事象を分	民法総則 法的な問題 段階的系統 析し、問題
到	達目標	①民法総則における主な概念や制度の意義、仕 ②民法総則の代理、時効、法人の分野の主要な ③条文及び判例・学説をもとに、能力、法律行 と。 ④日常生活の中で民法がどのように関わってい ⑤民法総則の理解をとおして、他の民法分野	論点に関する 為、意思表示 るかに興味を	学説・判例の*の分野で発生を持ち、自分で記述します。	状況を説明で する法律問題 調査したり検	を解決するための論野 討できること。		習得するこ

実務経験の 有無

×

実務経験のある教員等に よる授業科目の学修成果

コンピテ	・ンシー(行動	1特性)	協調性	傾聴力	創造力	論理的思考力					
「伸ばす	ことのできる	能力」	0	0	0	0					
講義	方法	資料(レシ	資料(レジュメ)に沿って講義形式による授業を行います。また、毎回リアクションペーパーで習熟度を確認します。								
	回数	T		内容							
	第1回		テーション 既論① 民法総則Iの復習①	D							
	第2回	民法総則	民法総則概論② 民法総則 I の復習②								
	第3回	民法総則	民法総則概論③ 民法総則Ⅱ概論								
	第4回	代理 (1)	代理(1) ①代理の意義と機能 ②代理関係(本人と代理人の関係)								
	第5回	代理 (2)	代理(2) ①復代理(②代理行為(要件・効果)								
	第6回	代理(3) ①任意代理制度 ②任意後見制度									
	第7回	代理(4) 表見代理 ①広義の無権代理 ②表見代理									
授業計画	第8回	代理(5) 無権代理 ①狭義の無権代理としての無権代理人の責任 ②無権代理と相続									
	第9回	条件・期[限・期間 ①意義・要件・交	効果 ②適用範囲							
	第10回	時効 (1)	①意義 ②取得時効								
	第11回	時効 (2)	①消滅時効一意義・要件	・効果							
	第12回	時効 (3)	完全猶予および更新 ①	時効障害 ②時効の完全猶予	予および更新の意義・効果						
	第13回	時効 (4)	時効の完成と援用・放棄	①時効の完成と時効の効果	果 ②時効の援用 ③時効の	利益の放棄と喪失					
	第14回	法人									
	第15回	これまで	の授業のふりかえり								
評価方法		学年末試験	験(60%)+リアクション^	ペーパー (40%) で評価しま	す。						

評価	方法	学年末試験(60%) +リアクションペーパー(40%)で評価します。
課題(試験やレポート等)の フィードバック方法		授業中にフィードバックします。期末試験は解答例などを掲示します
	テキスト	2025年度六法。種類・判例付かどうかは問いません。
使用資料	参考図書	佐久間毅 『民法の基礎1 総則〔第5版〕』有斐閣(2020年)(3100円+税)等授業で紹介したもの
受講上(・配布した授業資料、筆記用具、六法は毎回必ず持参してください。 ・学習内容の復習、より効果的に学ぶためことを目的に、任意提出の課題や、提出不要の宿題が出ることがあります。 フィードバックは授業中に行いますが、個別の対応も行いますので、オフィスアワーを活用してください。 ・期末試験の結果については、個別の問い合わせに応じます。詳細は初回の授業、期末試験時に説明します。 ・進度等により内容が変更されることがあります。 ・詳しくは初回に説明します。
事前·事後 学習	事前	前回の授業内容の復習、リアクションペーパーの取り組み 90分
(学習課題)	事後	授業内容の確認 90分
オフィスアワー		月曜日3時間目

授業科目名		裁判法	対象学期	授業科目区分 対象学期 対象学年 単位数		職名	担当教員
英	文 名	Japanese Justice System		専門科目		講師	隅田 勝彦
ナン	ベリングコード	03206 II AJ	後期	2年	2単位	마마	四四 份多
授	業概要	1年次に学んだ民法や刑法を実現するための科目である刑事訴訟法 $I \cdot \Pi$ の導入科目としてに、それぞれの手続の要をつかみ、その中での任務・構成・組織などについて、順番に学ん任務・地位などを見ていきます。 【授業の狙い】本授業は、「複雑化した社会を力」(ディプロマ・ポリシー2)を身につける【コースとの関連】「公共政策コース」及び「	も位置付けられま 基本的な用語や でいきます。さら 生き抜く基礎能力 ことを目指します	さす。まず、民 の概念、制度を かに、法制度を フ」(カリキュ -。	事訴訟・刑事 一通り学びまー 運用する主体ー ラム・ポリシー	訴訟・憲法訴訟につい す。次に、現在の日本 である広い意味での法	て、具体的な設例をもと に存在する五種類の裁判所 律家について、その歴史・
到	達目標	① 民事訴訟・刑事訴訟・憲法訴訟の基本的な道② 日本に存在する五種類の裁判所の任務・構成③ 裁判官・検察官・弁護士などの法律家の任務④ 民事裁判・刑事裁判・憲法裁判の基本的な仕⑤ ①~④により、裁判所の制度や民事裁判・刑訟法Ⅰ・Ⅱ、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱを受講する際の	・組織について や役割について 組みと手続につ 事裁判に関する	説明できる。 説明できる。 いて説明できる ルールについて	、基礎的な知		宇 次配当科目である民事訴
実	務経験の 有無	× 実務経験のある教員等による授業科目の学修成果					

	ンシー(行動		協調性	傾聴力	創造力	論理的思考力					
「伸ばす	ことのできる	能力」	0	0	0	0					
講義	方法	配布したレジュメを用いて講義します。また、毎回、授業で扱った内容を確認するための小テストを行います。									
	回数			内容							
	第1回	法と裁判の役割(1) 民事法の実現と民事手続(1)紛争									
	第2回	法と裁判の	の役割(2) 民事法の実現と民	上事手続(2)法規範							
	第3回	法と裁判の役割(3) 民事法の実現と民事手続(3) 訴訟									
	第4回	法と裁判の	の役割(4) 刑事法の実現と刑	事手続(1)刑事手続の目的							
	第5回	法と裁判の役割(5) 刑事法の実現と刑事手続(2)適正な手続の保障・刑事裁判									
	第6回	法と裁判の	の役割(6) 司法権と違憲審査	[権(1)司法権と裁判所							
1-75 AH4 = 1	第7回	法と裁判の	の役割(7) 司法権と違憲審査	権 (2) 違憲審査権と司法権	の独立						
授業計画	第8回	裁判所制度	度(1) 最高裁判所・高等裁判	所							
	第9回	裁判所制度	度(2) 地方裁判所								
	第10回	裁判所制度	度(3) 家庭裁判所・簡易裁判	l所							
	第11回	法律家の行	没割(1) 裁判官								
	第12回	法律家の行	役割 (2) 検察官								
	第13回	法律家の行	役割(3) 弁護士								
	第14回	法律家の征	ひ割 (4) 準法律家・法曹養成	È							
	第15回	裁判をめぐ	ぐる現代的課題 ~ 司法制度								

評価:	方法	毎回の確認テスト (30%) 期末試験 (70%)
課題(試験やレポート等)の フィードバック方法		毎回の確認テストは採点した上で返却し、次回の授業で解説を配布した上で説明します。 期末試験については、解答のポイントと全体の講評をGoogle Classroomに掲載します。
	テキスト	レジュメを配布します。
使用資料	参考図書	市川正人ほか『現代の裁判〔第8版〕』(有斐閣,2022年)1,700円(税別) 木佐茂男ほか『テキストブック現代司法〔第6版〕』(日本評論社,2015年)2,900円(税別) 川嶋四郎・松宮孝明編『レクチャー日本の司法』(法律文化社,2014年)2,500円(税別)
受講上(の注意	六法を必ず持参してください。 法学入門Ⅰ・Ⅱ、民法総則Ⅰ・Ⅱ、刑法総論Ⅰ・Ⅱの単位を取得していることが望ましいです。 詳しくは授業の初回に説明します。
事前·事後 事前		次回分のレジュメに目を通してくる(90分)
学習 事後		学習した範囲のレジュメやノートを読み返し、関連する文献を読む(90分)
オフィスアワー		水曜3限、木曜3限。その他、研究室に在室中は随時対応します。

授業科目名		経営学II		対象学期	授業科目区分 対象学年	} 単位数	職名	担当教員			
英 文 名	Bus	iness Administratio	n II		教養科目		教授	八坂 徳明			
ナンバリングコード	経骨学 1 で	04807ⅡAJ *学んだ理論をもとに	見休的な事	後期	シンおして経営	2単位		とを目的とする。企業が経			
授業概要	営戦略を策定 宜、経営分析 就職試験や公 【授業の狙い 社会を生き抜	Eするためには、自社 ┌手法を取得する。 よ務員試験に対応でき	把握のみならした企業の終した企業の終っ分析し、論理 キュラムポリ	ず、競合他社の 会評価を行う 自的思考力を身に シー6)を狙い	り経営状況ある も力の取得は、 こつける」(デ	いは業界との比較だだジネス・パースと	が必要になることから、適 /の常識としてだけでなく、 -2)、及び、「複雑化した				
到達目標	具体的なケー	-スを利用し、その内	利用し、その内容を考えながら、キーワードを中心に経営学の基礎知識が身につけることができる。								
実務経験の 有無	0	実務経験のある教 による授業科目の 成果		金	融機関等にお	ける実務経験	で得た知識を学生に	こ還元する			
コンピテ	· ンシー(行動	为特性)	協調性		傾聴力		創造力	論理的思考力			
「伸ばす	ことのできる	能力」			0		0	0			
講義		テキスト使用に。	る解説ととも	に、資料配布			れる。 				
	回数				内	容					
	第1回	「経営学I」で学	んだこと、ガ 	イダンス							
	第2回	企業とは何かー企	業の誕生(メ	ルカリの成立	と成長)						
	第3回	企業とは何かー会	企業とは何か-会社とは誰のものか (カゴメのファン株主拡大戦略)								
	第4回	企業のストラテミ	ジー-環境・戦	略・組織(フ	オードとGMの覇	肩権交代)					
	第5回	企業のストラテジー-競争戦略の基本型(マクドナルドとモスバーガーの戦略)									
	第6回	企業のストラテジーー事業のリストラクチャリングと組織改革 (GEの企業革新)									
+☆ 米 = ↓ □□	第7回	企業のストラテミ	ジーービジネン	ス・システム	(コマツのビジ	ネス・システ』	ムの革新とIOT)				
授業計画	第8回	企業のストラテジーー破壊的技術への対応と新規事業創造(富士フイルムの企業変貌)									
	第9回	企業のストラテミ	ジープラットフ	フォーム・ビ	ジネス(アップ <i>。</i>	ルのApp Stor	eの展開)				
	第10回	企業のマネジメント-組織理念と組織文化 (リクルートの起業家精神に基づく組織文化)									
	第11回	企業のマネジメン	/ト-人材のマ	ネジメント(双日の人事管理	L)					
	第12回	企業のマネジメン	/ト-日本的生	産システム(トヨタ生産方式	(1)					
	第13回	企業のマネジメン	/ト-成熟市場	における商品	開発(サントリ	一の新飲料開	発) ————————————————————————————————————				
	第14回	企業のガバナンス	▼ - 環境変化其	閉のマーケティ	ィング活動(良	品計画における	る危機と克服) 				
	第15回	企業の社会性-1	ごジネスの倫理	里(JR西日本の)新幹線台車亀	製トラブル)					
評価		理解度確認のため	の課題提出	(50%程度)、	ならびにレポ	ート (50%程度	度) による総合評価				
課題(試験やレフィードバ		課題については	受業内で解説。	試験・レポ	ート等のフィー	ドバックは、0	Google Classroom	などを通じて適宜実施。			
使用資料	テキスト	東北大学経営学	ブループ『ケー	-スに学ぶ経常	営学』(2019)有	斐閣(2,600円	+税)				
区// 貝付	参考図書	講義中で適宜紹介	1								
受講上の 備考		日頃から様々な。 特に関連報道を見る)					夏提起をしてほしい。	。(詳しくは初回に説明す			
事前·事後 学習	事前	授業範囲を予習し	、用語の意味	未等を確認して	ておくこと (30 ₂	分以上)。					
学習 (学習課題) 事後 講義内容をまとめたノート (講義ノート) の作成を勧める (1時間以上) 。						0					
オフィス	アワー	原則火曜日5限目	(他の時間帯	の場合はメー	ルによる予約と	:すること)					

授	業科目名	親族法	対象学期	授業科目区分 対象学年) 単位数	職名	担当教員
英	文 名	Family Law		専門科目		講師	後藤 亜季
ナン	バリングコード	03707 II AJ	後期	2年	2単位	ᇑᆒ	
扬	段業概要	家族というプライベートで最も小さな社会集団解決の道筋を示せるようになること、また変容す 【授業の狙い】社会問題に興味関心のある学生、 視点で事象を分析し問題発見能力を身に付ける、 指します。また、段階的系統的学修により専門知 す。 【コースとの関連】公共政策コース、法専門職コ みなさんの今後の人生に役立つ科目だと言えます	る社会におけ リーガルマイ: 課題解決の過 識を養い、リー ースにおいて!	る親族法の課題 ンドを身につけ 程を分析し論理 ーガルマインド	iを理解し、自 たい学生(ア i的思考力を身 iを身につける	分の意見を持つことを ドミッションポリシー に付ける(ディプロマ (カリキュラムポリシ	と目標とします。 -2.4) が、法学的な客観的 マポリシー1,2)の開発を目 √-2)ことを狙いとしま
到		以下①・②の目標到達を最低限の到達目標としま ①授業資料や授業で説明されたことをもとに、親 ②課題や事例の論点を正確に把握し、紛争解決に ③家族とめぐる現代的課題を理解し、自分の考え	族法の基本的の	できる	解し、説明す	ることができる	

実務経験の × 実務経験のある教員等に よる授業科目の学修成果

有無	^	よる授業科目の学修成果								
	ンシー(行動		協調性	傾聴力	創造力	論理的思考力				
「伸ばす	ことのできる	能力」	0	0	0	0				
講義	方法	六法およ	六法および配布資料を用いて講義します。授業中、発言を求めることがあります。							
	回数	1.11		内容						
	第1回	オリエンテーション ①家族法の特色 ②家事事件の特色								
	第2回	夫婦法①	婚姻の成立							
	第3回	夫婦法② 夫婦間の	婚姻の一般的効果 権利義務							
	第4回	夫婦法③	婚姻の財産的効果1							
	第5回	夫婦法④	婚姻の財産的効果2							
	第6回	離婚法① 死亡解消、離婚概説・協議離婚								
155 2114 = 1	第7回	離婚法② 有責配偶者からの離婚請求								
授業計画	第8回		離婚に伴う子の処遇 監護権、面会交流と養育費							
	第9回	親子法①	実親子関係 1							
	第10回	親子法②	実親子関係 2							
	第11回	親子法③	養親子関係							
	第12回	親子法④	親子法④ 生殖補助医療技術と親子関係1 (生殖補助医療技術と親子法)							
	第13回	親子法⑤	生殖補助医療技術と親子関係	《2(代理懐胎と親子法)						
	第14回	親子法⑥	親権・児童虐待							
	第15回	親族法に関する現代的課題								
評価:	方法	期末試験	00%							
課題(試験やレ フィードバ		授業中に	フィードバックします。期末記	は、解答例などを掲示し	ます					

田川山ノノス		791/N:P-V87X-10-0 / 0					
課題(試験やレポート等)の フィードバック方法		授業中にフィードバックします。期末試験は、解答例などを掲示します					
テキスト		2025年度六法。種類・判例付かどうかは問いません。					
使用資料	参考図書	・民法判例百選III 親族・相続〔第3版〕: 別冊ジュリスト 第264号 2420円 ・二宮周平 家族法 第5版 新世社 3400円(税別)円 等授業で紹介したもの					
受講上(・配布した授業資料、筆記用具、六法は毎回必ず持参してください。 ・学習内容の復習、より効果的に学ぶためことを目的に、任意提出の課題や、提出不要の宿題が出ることがあります。 フィードバックは授業中に行いますが、個別の対応も行いますので、オフィスアワーを活用してください。 ・期末試験の結果については、個別の問い合わせに応じます。詳細は初回の授業、期末試験時に説明します。 ・進度等により内容が変更されることがあります。 ・詳しくは初回に説明します。					
事前·事後 事前 学習		前回の授業内容の復習、指示された宿題や課題の取り組み 90分					
(学習課題)	事後	授業内容の確認 90分					
オフィス	アワー	月曜日3時間目					

授業科目名					授業科目区分		職名	名 担当教員				
英文名		Labor Law		対象学期	対象学年 専門科目	単位数	*****					
ナンバリングコード		03506 Ⅲ A		後期 3年 2単位 非常到講師 水田 裕美								
授業概要	す。具体的に 働関係に関す 【授業の狙い 統的学修によ	授業では、職業生活においてどのような場面でどのような法的規制・保護があるのかを学び、現実にどのような問題が起きているのかを考えま。具体的には、個別的労働関係法(雇用関係の成立から終了、労働時間、賃金等)を中心とした知識習得を目指します。また、最近の労働法、労働関係に関するトピックスのうち、「労働法 I」の講義で取り扱わなかった分野についても学習します。 1受業の狙い】ディプロマポリシー「法学的な客観的視点で事象を分析し、問題発見能力を身につける」こと、及びカリキュラムポリシー「段階的系で的学修により専門知識を養いリーガルマインドを身につける」ことを実現するための科目です。 【コースとの関連】公共政策コース(行政系公務員)、企業人コースにおいて重要な科目です。 法専門職コースにおいてやや重要な科目です。										
到達目標	②職業生活に	活においてどのような場面でどのような問題が起こりうるのかを理解できる。 活において起こりうる諸問題に対して労働法はどのような規制、保護を行っているのかを説明できるようになる。 ら社会人となる上で、最低限必要な知識を身につける。										
実務経験の 有無	0	実務経験のあるよる授業科目の		厚生労働	当所管の研究	2機関における	実務経験で得た知見	き学生に還元する。				
	ンシー(行動		協調性		傾聴力		創造力	論理的思考力				
	ことのできる		 対資料等を用いて講	羊士 田柳	● (本記のため	のルニフレナタ	O ====================================	©				
講義	回数	技术では配	り貝科寺を用いて調	1我9つ。 垤胖		カ容	<u> </u>					
	第1回	オリエンテー	ション		<u>'</u>	7.0						
	第2回	団体交渉										
	第3回	労働協約										
	第4回	賃金(1)-賃金体系、賃金の支払方法										
	第5回	賃金(2)-最低賃金法など										
	第6回	労働時間										
155 416 = 1	第7回	休憩・休日										
授業計画	第8回	時間外・休日労働										
	第9回	休暇・休業										
	第10回	人事異動(1)一配置転換										
	第11回	人事異動(2)一出向										
	第12回	懲戒処分										
	第13回	労働条件の変更										
	第14回	労働契約の終	了									
	第15回	安全衛生と労	災補償									
評価:	方法	中間試験及び	期末試験またはレポ	ート(80%)、技	受業中に行う小	テストや授業中	中の発言内容等(20%)	を総合的に判断する。				
課題(試験やL フィードバ		試験及びレポ	ート課題については	、授業時間内は	こフィードバッ	クしたり、解答	答例や正解を紙媒体等	で配布する。				
使用資料	テキスト		するレジュメに基づ									
区川東竹	参考図書	○ジュリスト	スト『労働判例百選。 増刊『労働法の争点。	』有斐閣(2014								
受講上の 備考		労働関連法規 詳しくは初回	講していることが望 が掲載された六法を 授業時に説明します。 怠ったりすると単位	持参すること。 。								
事前·事後 学習	事前	授業ごとに前	回の授業内容に関す	るおさらいを行	ううので、60分	程度の復習をし	しておくこと。					
(学習課題)	事後	授業終了時に	指示する教科書該当	部分や課題の学	学習(60分程度)							
オフィス	アワー	月曜日2限の打	受業終了時									

授業科目名		刑事訴訟法Ⅱ	対象学期	受業科目区分 対象学年) 単位数	職名	担当教員
英	文 名	Criminal Procedure II		専門科目		講師	隅田 勝彦
ナンバ	バリングコード	03607 Ⅲ AJ	後期	3年	2単位	神印	隣田 勝彦
授	業概要	刑事訴訟法という科目は、大きく「捜査」と「攻撃・防御を通して適正な事実認定や量刑をする事実認定を影にないようにするための様々な方策 筋の提起から判決手続までを概観して日本の刑事くことにします。 【授業の狙い】本授業は、「複雑化した社会を生 考力」(ディプロマ・ポリシー2)を身につける【コースとの関連】「公共政策コース」及び「法	ためのルールが設けられてい 裁判手続につい き抜く基礎能 ことを目指し	や制度を学習しいます。「公判いての具体的な カ」 (カリキュ ます。	ます。刑事訴]」の中心は証 :イメージをつ .ラム・ポリシ	訟は、伝統的には公 拠法ですが、視聴覚 かんだ上で、証拠法	判手続を中心に形成され、 教材なども用いながら、公 の細かいルールに入ってい
到;	達目標	広い意味では、自由かつ公正で多様性のある社 手続にとどまらず実社会においても、事実を認定 るのか、また、その手続の中で考慮すべき要素は 点を到達目標とします。 ①日本の刑事法運用がどのような手続で進められ ②公判段階における各手続の位置付けや意味など ③公判手続で用いられる用語について正確に説明	して結論を出 何であるのか ているかを説 を説明できる。	す場合、その目を自ら探求でき 明できる。	的と事柄の性	質に応じて、どのよ	うな要件や手続が求められ

実務経験の × 実務経験のある教員等に

美務栓験の 有無	×		ある教員寺に 目の学修成果									
	· ンシー(行動		協調性	傾聴力	創造力	論理的思考力						
「伸ばす	ことのできる	能力」	0	0	0	0						
講義	方法	配布したし	配布したレジュメを用いて講義します。また、毎回、授業で扱った内容を確認するための小テストを行います。									
	回数			内容								
	第1回	公訴の提起	公訴の提起 ~ 公訴提起の基本原則,公訴提起の方式,起訴状一本主義 ~									
	第2回	公判の準備	端 ~ 公判準備の手続,被令	告人の勾留と保釈 ~								
	第3回	公判の手約	売(1) ~ 冒頭手続, 証拠	調べ,弁論(1)~								
	第4回	公判の手約	売(2) ~ 冒頭手続,証拠	調べ,弁論(2) ~								
	第5回	裁判員制度	度 ~ 陪審制と参審制,日2	本における国民の司法参加、裁	判員の参加する手続 ~							
	第6回	自白法則と補強法則 ~ 自白排除の根拠と基準,補強証拠と補強法則 ~										
	第7回	伝聞法則(1) 伝聞法則の意義と根拠										
授業計画	第8回	伝聞法則(2) 伝聞法則の例外(1)										
	第9回	伝聞法則 (3) 伝聞法則の例外 (2)										
	第10回	排除法則 (1) ~ 排除法則の根拠・基準 ~										
	第11回	排除法則(2) ~ 判例の動向,派生証拠の排除 ~										
	第12回	公判の裁判・上訴(1) ~ 裁判の意義・種類,形式裁判と実体裁判,上訴の意義・種類 ~										
	第13回	上訴 (2) ・再審 ~ 控訴・上告,再審の意義,再審手続 ~										
	第14回	特別手続	~ 略式手続,簡易公判手	売,即決裁判手続 ~								
	第15回	少年事件の手続 ~ 少年事件の特徴,捜査段階の特則,公判手続の特則 ~										
評価	方法	毎回の確認	怒テスト (30%) 期末試験	(70%)								
課題(試験やレ フィードバ				し、次回の授業で解説を配布 と全体の講評をGoogle Classi								
	テキスト	レジュメを配布します。										

評価方法		毎回の確認テスト (30%) 期末試験 (70%)					
課題(試験やレフィードバ		毎回の確認テストは採点した上で返却し、次回の授業で解説を配布した上で説明します。 期末試験については、解答のポイントと全体の講評をGoogle Classroomに掲載します。					
使用資料 参考図書		レジュメを配布します。					
		寺崎嘉博・長沼範良・田中 開『刑事訴訟法〔第7版〕』(有斐閣,2024年)2,500円(税別) 三井誠・酒巻匡『入門 刑事手続法〔第9版〕』(有斐閣,2023年)3,000円(税別) 池田公博・笹倉宏紀『刑事訴訟法』(有斐閣,2022年)2,100円(税別)					
受講上6		六法を必ず持参してください。 刑法総論Ⅰ・Ⅱ、裁判法の単位を取得していることが望ましいです。 詳しくは授業の初回に説明します。					
事前·事後 事前 学習		次回分のレジュメに目を通してくる(90分)					
(学習課題)	事後	学習した範囲のレジュメやノートを読み返し、関連する文献を読む(90分)					
オフィス	アワー	水曜3限、木曜3限。その他、研究室に在室中は随時対応します。					

授業科目名	保険法	授業科目区分 対象学期 対象学年 単位数		職名	担当教員				
英 文 名	Insurance Law	V13V 1 V1	専門科目	十世級	≯ /+≅	古会 由 1			
ナンバリングコード	03707 Ⅲ AJ	後期	3年	2単位	教授	高倉 史人			
授業概要	保険は私達にとって大変身近な存在である。例えば、盗難・火災・自然災害に関する損害保険、自動車に関する自動車保険、死亡・界気・ケガ・介護などに関する生命保険、入院・診療に関する傷害疾病定額保険がある。そして、保険法はこれらの保険における契約のルールを定めた法律である。また、保険法の知識は、保険会社、銀行、証券会社などに就職を希望する学生にとって非常に有益である。本講義では損害保険、生命保険、傷害疾病定額保険に関する内容と判例を解説する。 【授業の狙い】①段階的系統的学修により保険法の専門的知識を養いリーガルマインドを身につける(CP2)②総合的学修による課題探えカ、問題解決能力を身につける(CP5)③保険法の専門的知識を養いリーガルマインドを身につける(CP2)②総合的学修による課題探えカ、問題解決能力を身につける(CP5)③保険法の専門的知識や保険法に関する判例を学ぶことで、学生は保険法に関する理解を深め、法学的な客観的視点で事象を分析し問題発見能力を身につける(DP1)④課題解決の過程を分析し論理的能力思考力を身につける(DP2)。 【コースとの関連】企業経営コースとって重要な科目である。								
到 達 目 標	(1)保険法に関する基本的知識を修得することが (2)具体的な事例を通して学説や判例を学び、修 (3)将来なんらかの形で保険契約をする場合に移 (4)保険会社、銀行、証券会社などの就職に役に	R険法の問題点 设立つ法知識を	習得修得する	ことができる					

実務経験の 有無 × 実務経験のある教員等に よる授業科目の学修成果

コンピテンシー(行動物		持性)	協調性	傾聴力	創造力	論理的思考力					
	ことのできる前	• .—-									
講義方	法	配布資料を用いて講義する。また、課題を出す。適宜Q&Aを行う。									
	回数		内容								
	第1回	ガイダンス									
	第2回	保険と保険	保険と保険法の仕組みと内容								
	第3回	保険法の判	・通事項①-保険契約の成立 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ž.							
	第4回	保険法の判	は通事項②一保険契約の内容	ş							
	第5回	損害保険の)仕組みと内容								
	第6回	損害保険 <i>の</i>)特質①-保険事故と損害補	てん							
	第7回	損害保険 <i>の</i>)特質②-保険代位、海上係	 保険							
授業計画	第8回	火災保険と	地震保険の内容								
	第9回	自動車保険の内容									
	第10回	生命保険の仕組みと内容									
	第11回	生命保険の特質-生命保険契約の成立、変動、終了									
	第12回	傷害疾病定額保険の仕組みと内容									
	第13回	傷害疾病定額保険の特質①-疾病保険契約									
	第14回	傷害疾病定額保険の特質②-ガン保険契約									
	第15回	まとめ									
評価力	法	試験の成績	試験の成績(70%)、課題(30%)を中心に総合的に評価する。								
課題(試験やレンフィードバッ		提出された課題に対して学生ごとにフィードバックする。期末試験や課題には解答例を示す。									
	テキスト	講義時に資料を配布する。									
使用資料	参考図書	神作裕之・藤田友敬編『商法判例集』第9版(有斐閣、2023年)(3,700円+税)									
受講上の 備考な		商法総則・商行為法、会社法1・Ⅱを履修しておくことが望ましい。 講義中の私語や携帯電話等の使用を禁止。六法を持参。 詳しくは初回に説明する。									
事前·事後 学習	事前	前回の授業	きの内容の復習、講義終了時	寺にに指示する該当部分の予	習(60分)						
(学習課題)	事後	授業内容の	授業内容の復習、課題及び新聞購読など (60分)								
オフィスフ	アワー	水曜日3限									

授業科目名		専門特殊調		拉 対象学期	受業科目区分		職名	担当教員		
英 文 名	S	経営戦略 Strategic mana		刈豕子朔	対象学年 教養科目	単位数	47-1-12	八七 体四		
ナンバリングコード	67 24 25 m/c 1	04808Ⅲ	·	後期	3年	2単位	教授 	八坂 徳明		
授業概要	経営戦略の基 を事例を通じ 経営戦略モラ 企業戦略モラ 果を自らの別 「授業の狙い よる問題探求	を ない は ない ない を で で を が が が が が が が が が が が が が	こつき検証する。こ 図る。 企業分析を実施する 立ててもらうようコ		うえで理解し、 まえ、最新の 受講者各自が 思考力を身に ポリシー6)	経営戦略立案 ごジネストレン 興味のある企業 つける」(ディ	のために多用されて ドの中での成長産業 を選定し、経営戦略	いるベーシックな分析手法 、成長企業の事例を確認し い視点から分析し、その成)、及び、「総合的学修に		
到達目標	「企業はどうあるべきか」という企業の基本的機能を中心とした戦略論が習得できる。 自ら関心のある企業につき、企業分析を行うことにより、経営戦略のメカニズムを体得する。									
実務経験の 有無	0	実務経験のるによる授業科果	目の学修成	金融	融機関等にお	ける実務経験で	で得た知識を学生に	に還元する		
コンピラ	テンシー(行動	 助特性)	協調性		傾聴力		創造力	論理的思考力		
「伸ばす	トことのできる	能力」			0		0	0		
講義	方法	テキスト使	用による解説とと	もに、資料配布	等による補足	説明も取り入れ	る。			
	回数	1			内	容				
	第1回	経営戦略の基本コンセプト:事業経済性の活用(その1)								
	第2回	経営戦略の基本コンセプト:事業経済性の活用(その2)								
	第3回	経営戦略の基本コンセプト:自社の強みの構築と活用								
	第4回	経営戦略の基本コンセプト:戦略の動向プロセスとラーニング(その1)								
	第5回	経営戦略の基本コンセプト:戦略の動向プロセスとラーニング (その2)								
	第6回	実務に使えるフレームワーク:環境分析と戦略立案(その1)								
	第7回	実務に使えるフレームワーク:環境分析と戦略立案(その2)								
授業計画	第8回	実務に使えるフレームワーク: 資源配分と戦略立案								
	第9回	実務に使えるフレームワーク:戦略のマネジメント								
	第10回	経営戦略の応用:事業創造の戦略(その1)								
	第11回	経営戦略の応用:事業創造の戦略(その2)								
	第12回	経営戦略の応用:事業創造の戦略 (その3)								
	第13回	経営戦略の応用:グローバル経営の戦略(その1)								
	第14回	経営戦略の	応用:グローバル	経営の戦略(その	7)2)					
	第15回	経営戦略の応用:競争優位の再考								
評価	方法	平常点(含発表) (50%) 、レポート (50%) を評価。								
課題(試験やレポート等)の フィードバック方法		課題については授業内で解説。試験・レポート等のフィードバックは、Google Classroomなどを通じて適宜実施。								
	テキスト	グロービス経営大学院編『グロービスMBA経営戦略』 (2017) ダイヤモンド社2, 800円 + 税								
使用資料	参考図書	講義中で適								
受講上の 備考			極的な発言、主体 回に説明する。	的な参加を期待	します					
事前·事後 学習	事前		予習し、用語の意							
(学習課題)	事後	講義内容をまとめたノート (講義ノート) の作成を勧める。(60分以上)								
オフィス	アワー	原則火曜日5限目(他の時間帯の場合はメールによる予約とすること)								